

ネイティブストレプトコッカス・ニューモニエ α (2→3) ニュラミニダーゼ

Cat. No. NATE-0757

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 ノイラミニダーゼ酵素は、ノイラミン酸のグリコシド結合を切断するグリコシド加水分解酵素 (EC 3.2.1.18) です。ノイラミニダーゼ酵素は多様な生物に見られる大きなファミリーです。最もよく知られているノイラミニダーゼはウイルス性ノイラミニダーゼで、インフルエンザ感染の拡散を防ぐための標的ターゲットです。ウイルス性ノイラミニダーゼは、インフルエンザウイルスの表面に見られる抗原決定因子として頻繁に使用されます。インフルエンザノイラミニダーゼのいくつかの異体は、ウイルスに他のものよりも高い病原性を与えます。他のホモログは哺乳類細胞に見られ、さまざまな機能を持っています。

別名 神細胞酸化酵素; シアリダーゼ; α -神細胞酸化酵素; アセチル神細胞酸化酵素; エキソ- α -シアリダーゼ; EC 3.2.1.18; 9001-67-6

製品情報

由来 肺炎球菌

形態 緩衝水溶液。50 mM ナトリウムリン酸塩溶液、pH 7.5

EC番号 EC 3.2.1.18

CAS登録番号 9001-67-6

代謝経路 他のグリカン分解、特定の生物系; スフィンゴ脂質代謝、特定の生物系; スフィンゴ脂質代謝、保存された生物系

単位定義 1ユニットは、pH 5.0、37°Cで1分あたり1 μ moleの4-メチルウンベリフェリル α -D-N-アセチルニュラミン酸を加水分解します。

保管・発送情報

保存方法 2-8°C